

競技注意事項

(足立中学校選手権・足立フレンドリーナイター共通)

2022.8.21-22

1 本競技会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会の要項及び競技注意事項により実施します。小学生は公認記録の対象外です。

2 (1) 無観客大会です。「ADカード」の無い方は入場できません。

(2) TICにて団体(個人)受付をしてください。その際に「団体(個人)参加確認票」を提出してください。「体調管理チェックシート兼大会参加承諾書」は、団体責任者が取りまとめて、大会後一か月間保管してください。

(3)別紙「新型コロナウイルスの感染拡大防止ガイドライン」を参照して感染防止に努めてください。

3 プログラムについて

本競技会ではプログラムの配布(販売)はありません。各自で足立陸協 HP または東京陸協 HP よりスタートリストをダウンロードしていただくようお願いいたします。記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属)等があった場合は、遅くとも出場する競技の開始時刻60分前(競技場開門から60分はその限りでない)

までに大会本部へ申し出て正誤表を提出してください。

競技終了後の訂正(賞状及び記録証の訂正を含む)は認めません。

※申込データをそのまま使用しています。

4 競技者招集場所について

(1)招集場所はトラック競技は100mスタート地点前方北倉庫前で行います。

フィールド競技は各競技場所で行います。

(2)招集時間は、競技開始時刻を基準として以下のように定めます。

・「トラック種目」 競技開始時刻の30分前より開始し、20分前に完了します。

・「フィールド種目」 競技開始時刻の40分前より開始し、30分前に完了します。

(3)リレーのオーダー用紙は、各区分の招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係に提出してください。

オーダー用紙はTICに用意しています。

リレーのメンバー変更について、メンバーのうち少なくとも2名はそのリレーに登録した競技者でなければなりません、その条件を満たせば同一団体で他の種目にエントリーしている競技者を出場させることも可能です

(TR24.10)。及び、複数のリレーチームをエントリーしている団体の場合、他のリレーチームに登録している競技者を出場させること(例: Bチームに登録している競技者をAチームで出場させること)も可能です。ただし、1人が2つ以上のチームに出場することは出来ません。

(4) 招集に遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守してください。

(5) 招集時刻に他の種目に出場などの理由のある場合は(4)の限りではないので、必ず競技者係主任に前もって申し出てください。

(6) 招集場所へは、競技に出場するユニフォームにアスリートビブス(トラックは腰ナンバー標識も)を付けた状態で集合してください。ナイター陸上出場の競技者は招集時刻前にサイドビブスを受け取ってください。中学大会は各自で用意してください。靴底の確認が必要な方は、競技に使用するシューズも持参してください(ただし、小学生は確認の必要はありません)。

(7) 競技者は競技役員の指示に従って、危険の無いよう競技場に入場・退場してください。

5 競技方法

(1)トラック競技は、写真判定装置を使用します。同記録の場合には、1/1000秒まで確認し判定します。それでも判定がつかない場合は、同着とします。

(2)トラック競技は、「中学校選手権100m」を除き、タイムレース決勝とします。

(3)セパレートレーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行います。

(4)400mまでのトラック競技とリレー種目の第1走者(小学生除く)は、スターティングブロックを使用します。ただし、中学1年生の種目は使用しなくてもよいこととします。

小学生5・6年の部の100mでは使用しても構いません。

小学生1・2年、3・4年の部の100mではスターティングブロックを使用できません。

(5)800m以上の競技は、オープンレーンでのスタートで行います。ただし、高校・一般800mに限りセパレートスタートとします。なお、状況によりグループ別スタートを行うこともあります。

(6)ハードル競技(中学)は次の規格で行います。

種目	高さ	スタート～第1ハードル	インターバル	最終ハードル～フィニッシュ	台数
女子100mH	0.762m	13.00m	8.00m	15.00m	10台
男子100mH	0.838m	13.00m	8.50m	10.50m	10台
男子110mH	0.914m	13.72m	9.14m	14.02m	10台

(7)フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左上から下に行います。2列に記載されている場合は、左列の後右側が行います。

(8)走幅跳・砲丸投・やり投の試技について、全員3回試技を行い上位8名が引き続きトップ8の試技3回を行い最終順位を決定します。しかし、天候や競技時間、申し込み人数によっては3回の試技で順位を決定する場合があります。

(9)砲丸投・やり投競技は次の規格で行います。

種目	重さ	種目	重さ
男子 一般砲丸	7.260 kg	女子 高校・一般砲丸	4.000 kg
男子 高校砲丸	6.000 kg	女子 中学砲丸	2.721 kg
男子 壮年、中学砲丸	5.000 kg		
男子 一般やり	800 g	男子壮年 女子一般	600 g

(10)走高跳のバーの練習の高さ及び上げ方は次の通りとします。ただし、参加競技者の競技力等を判断し、現地で変更する場合もあり得えます。

<中学>

男子 練習 1m30or1m50/1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 1m58→以後3cmずつ

女子 練習 1m10or1m30/1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m38→以後3cmずつ

<高校・一般>

男子 練習 1m50/ 1m55 → 1m60 → 1m65 → 1m70→以後3cmずつ

女子 練習 1m20or1m35/1m20 → 1m25 → 1m30 → 1m35→ 1m40 → 1m45→以後3cmずつ

※1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとします。

(11) 競技用具は競技場備え付けの物を使用します。ただし、持参した用具を希望する場合は、日本陸連検定済みのもので競技前に主催者による検査を受け使用許可を得なければなりません。また、許可された用具は、他の競技者にも使用させねばならず、万一破損があった場合でも主催者はその責任を負いません。ただし、リレーの助走マークについては各校で用意してください。使用したマークはレース後、各校(チーム)で責任をもって取り外してください。

(12)競技用靴について

スパイクピンの長さは9 mm 以下・走高跳のみ1 2 mm 以下です。

靴底の最大の厚さ（購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む）は、2024 年 10 月 31 日まで以下の通り(TR5.2)。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目	20 mm	投てき種目と跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800m未満の種目、 ハードル種目を含む)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、 障害物競走を含む)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。

他のシューズなど靴底の確認（計測）を招集時等に競技者係または総務で行います。

6 アスリートビブス（ビブス）

(1)アスリートビブス（横24 cm×縦16 cm 旧規格の横24 cm×縦20 cmでもよい）を各校・各自で2枚作成してください（スタートリストで確認のこと）。都内の高校生は各自の高体連登録番号で全て黒文字で作成（高校の支部番号は赤でも可）してください。ただし、跳躍種目は1枚で構いません。

3000m・5000mは専用のアスリートビブスセットを付けます。招集所で受け取ってください。

(2)胸と背に確実に固定してください。（跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい）

(3)中学大会のトラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識（1枚）を各自で作成（標準：縦12 cm×横18 cm）し、右腰やや後方につけてください。字幅は1.5 cm、高さ10 cmを標準とします。

ナイター大会のトラック競技に出場する競技者は招集前に腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけてください。

3000m・5000mの専用のアスリートビブス(ビブス)セットは、フィニッシュ後回収するので、取り外し回収箱に入れてください。

(4)安全ピンも各自で用意してください。

7 スタートについて

(1)一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とします。

(2)不正スタートとは、号砲前に「手が地面から離れる」「足がフットプレートから離れる」「スタートの動作をする」ことです。

(3)不適切行為（速やかに構えない、「セット」で静止しない、ピクつく等）をした競技者へは出発係が口頭で注意を与えます。

(4)同一の競技者が同一のレースで二度不適切行為を繰り返した場合は、審判長もしくはスターター主任がイエローカードを提示し警告を与えます。

(5)同一の競技者が同一のレースで三度不適切行為を繰り返した場合は、審判長もしくはスターター主任

がイエローカードを提示した後にレッドカードを提示して当該種目の失格を宣言しますが、他種目への出場は妨げません。

(6)イエローカードは同一種目内での累積とします。

(7)スタートの発声は、小学生1～4年を日本語で、それ以外を英語で行います。

小学生競技においては、同じ選手が不正スタート2回した場合は失格としますが、参考記録として走れるものとします。

8 表彰について

※競技終了のおおむね30分後からT I Cに配置します。

【足立フレンドリー ナイター陸上】

各種目8位までに賞状を授与します。また第1位には盾を授与いたします。

【足立中学陸上】

足立陸協より、『総合の部』として各種目8位までに賞状を授与します（記録証はありません）。

なお、第1位には個人・リレー(4名)とも盾も授与いたします。

9 リザルト掲示・記録証について

すべての記録はWEBでの記録速報版をご利用ください。

〈QRコード〉 <http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

大会終了後1～2日で、

全記録が足立区陸上競技協会ホームページにて確認できます。

ナイター陸上の小学生には記録証を発行します。

申込団体別または個人申込者を取りまとめた封筒またはトレイから、各自持ち帰ってください。

※主催者が大会で撮影した写真や大会の記録、氏名、所属名等が足立陸協ホームページに掲載されますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

個人情報の制限が必要な競技者は、足立陸協宛にご通知いただきますようお願いいたします。



記録速報サイト

10 競技場使用の注意

(1)T I Cは正面玄関外側に置きます。

(2)競技者・指導者・引率者の出入りはフィニッシュ付近スタンド横のゲートの1ヶ所のみとし、その他全てのゲート等は閉鎖します。なお、競技役員の出入りは正面玄関です。

(3)朝の入場はフィニッシュ付近スタンド横のゲートからとします。

(4)本競技会は「無観客」での実施となりますので、スタンドでの応援はお控えいただき、長く留まらないようお願いをいたします。

(5)芝生席についてはソーシャルディスタンスを取った上で、3密にならない様、テントの設営を認めます(隣その他チームテントと2m以上間隔を空けてください)。

(6)練習は危険の無いよう競技役員の指示に従って行ってください。

※投てき競技の練習は、競技開始前のみとします。

なお、やり投で待機中にやりを持っての素振りには危険ですので絶対にしないようお願いいたします。

(7)セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためにフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走行してください。

(8)競技場内のセーフティーコーン等設置場所(特に正面スタンド前付近)には競技進行に支障をきたしますので絶対に立ち入らないでください。

(9)ウォーミングアップなどの練習は、競技や他の競技者に十分注意して行ってください。

(10)競技場内にはハードル等の器具は持ち込まないでください。

(11)リレーの助走マークは、テーピングテープなどを使用し走り終わったら各チームは必ず責任をもって剥がしてください〔前走者が次走者のテープを剥がします〕。

1 1 その他

(1)引率者のいない学校や競技役員の指示に従えない学校は参加できません。

(2)服装は見苦しくないようにし、ランニングシャツは必ずランニングパンツの中に入れてください。

(3)100m競走の決勝など、スタート前などにアナウンスによる競技者の紹介があったら一歩前に出て手を上げるようにしてください。

(4)衣類・貴重品の保管、応援席の清掃は各チームが責任をもって行ってください。

(5)足立区中学校顧問の先生方には競技役員としてあたっていただきますので、必ずご協力下さい。

(6)競技中の事故については主催者によって応急処置を行いますが、それ以後の責任は負いません。

(7)更衣室の利用は短時間で済ませ、また、盗難には十分注意してください。

(8)ゴミは各自の責任において家庭まで持ち帰ってください。

(9)その他不明な点については本部にて照会してください。1

(10)「東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」の選考について《足立区内中学校》においては、本大会の成績を参考に選考を行いますが、本大会のみでは決定しません。選考に際しては中体連足立支部陸上競技専門部に決定し、後日各校・競技者に連絡します。

「第75回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会」

期日：令和4年10月15日（土）・16日（日）

会場：江東区夢の島競技場

【競技会における撮影行為についてのお願い】

昨今、悪質な写真（ビデオ）の盗撮が横行しています。選手達をこれらの被害から守るために、競技会中の撮影を下記の場合に限らせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

① 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを着用したカメラマン及び大会事務局。

② 大会出場学校、クラブ等の関係者

③ 当該選手の保護者、家族等

競技会中、上記に該当するか確認をする場合があります。その際は、状況をご理解の上、ご協力お願いいたします。不審者を見かけた際はお近くの競技役員までお知らせください。

【大会主催者の免責事項について】

大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

本大会は、競技者・大会役員に対するイベント（マラソン）保険に加入している。

『保険会社』三井住友海上火災保険株式会社

<補償内容>イベント（マラソン）保険

死亡 200万円

入院（1日180限度）：3000円

通院（1日90日限度）：2000円

【連絡先】 足立区陸上競技協会 会長 辻野 清（携帯）090-1424-8341